



取締役会長 宮原 利弘



取締役頭取 山本 孝之

## ごあいさつ

皆さま方には、平素より私ども佐賀共栄銀行をお引立ていただき、誠にありがとうございます。

さて、本年もここにディスクロージャー誌「佐賀共栄銀行の現況 2005」をお届けいたします。

本誌は、当行の経営方針や組織のほか、この1年間の施策とその成果、地域社会とのかかわり等につきまして、具体的に、わかりやすくご説明しています。ご高覧のうえ、当行の経営内容等について、より一層のご理解を賜れば幸いに存じます。

当行は16年度において、経営の不安定要因となっていた不良債権問題と決別するため、資産内容の集中改善を図ったことから、15年度に続き損失を計上いたしました。しかし、これにより経営体質は一段と強化され、今後安定した黒字決算が見込める状況となりました。また、経営の健全性の目安となる自己資本比率は8.20%と、ペイオフが全面解禁された現在でも、安心してお取引いただける水準にあります。

当行では、17年度より第七次中期経営計画「創造的改革」(4ヵ年)をスタートさせました。新中期経営計画は、当初2年間で「改革期」の1st.ステージ、続く2年間で「完成期」の2nd.ステージと位置付け、「地元と共に栄え、地元信頼される地域共栄型銀行の確立」という経営理念の下、①健全な財務内容と安定した収益力、高い企業倫理により「地域に信頼感のある銀行」、②積極的な地域貢献と充実した金融サービスの提供により「地域に存在感のある銀行」の実現を目指しております。この計画に基づき、当行役職員一同は、お取引先企業の経営改善、事業再生の支援や利用者の皆様の利便性向上など「地域密着型金融」の推進を通じて、地域経済活性化のお役に立つよう、一層の努力を重ねてまいります。

今後とも、皆さま方の旧に倍するご支援・ご愛顧を切にお願い申し上げます。

平成17年7月

取締役会長 宮原 利弘

取締役頭取 山本 孝之